

令和5年6月

## 令和5年3月卒業・修了予定者アンケート調査集計結果報告書

北海道医療大学  
点検・評価全学審議会

点検・評価全学審議会は、内部質保証システムを策定し、多方面からの視点により点検・評価を実施することとし、本学の教育理念・教育目標を達成するための大学づくりを目指している。

その一環として、卒業・修了予定の学生に対し、教育の質保証の観点から本学の教育により修得した知識や能力の達成度などについて評価・意見を聴取するため、アンケート調査を実施した。協力いただいた学生各位に対し厚くお礼を申し上げますと共に、その集計結果をホームページに公表することとした。

なお、この調査結果を今後の本学における教育のあり方についての点検・評価の基礎資料として活用することとする。

### 【令和5年3月卒業・修了予定者アンケート調査】

- ・集計結果報告書
- ・アンケート調査票

## 令和5年3月卒業・修了予定者アンケート調査集計結果

**目的：**卒業・修了予定者アンケート調査は、教育の質保証の視点から学部卒業生に対して学士課程における学習成果、大学院修了生に対して修士または博士課程における知識・能力の修得度合いについて調査し、教育目標・教育プログラムの教育効果の検証に資することを目的とする。

**調査方法：**令和5年3月卒業生・修了生を対象にカリキュラムポリシー、ディプロマポリシーおよび修得すべき知識・能力について、別紙アンケート調査を実施した。

**調査期間：**令和4年12月から令和5年3月までの期間に学部（学科）・研究科別に実施した。

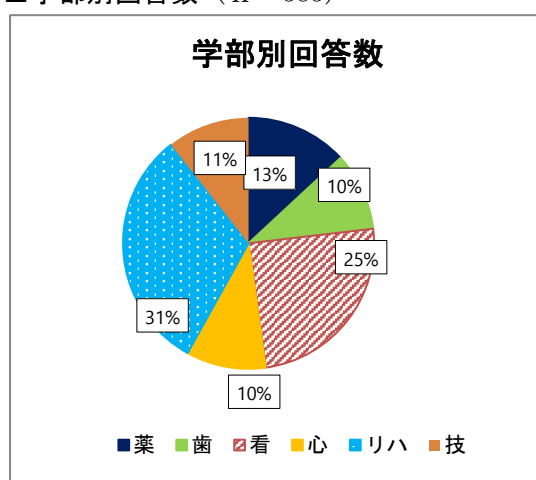
**回答率：**大学（学部・学科）の回答率は82.0%、大学院の回答率は71.2%

### I. 大学・学部

#### ■回答率

学部・学科		卒業生数（人）	回答者数（人）	回答率（%）
薬学部	薬学科	137	69	50.4%
歯学部	歯学科	55	53	96.4%
看護福祉学部	看護学科	113	96	85.0%
	福祉マネジメント学科	41	34	82.9%
心理科学部	臨床心理学科	61	54	88.5%
リハビリテーション科学部	理学療法学科	83	81	97.6%
	作業療法学科	34	34	100.0%
	言語聴覚療法学科	63	50	79.4%
医療技術学部	臨床検査学科	56	56	100.0%
大学全体		643	527	82.0%

#### ■学部別回答数（n=383）



## 1. 調査概要

### ■学士課程教育において修得すべき知識・能力

「専門知識、技術」「幅広い教養」「倫理観」「協調性」等、修得すべき知識・能力として特に重視している項目について、全ての学部で概ね成果があった。

- 「修得すべき知識・能力」：「A 幅広い教養」「B 豊かな人間性」「C 専門知識、技術」「D 倫理観」「E 自己研鑽能力」「F 協調性」「G コミュニケーション能力」「H 自主性・創造性」「I 地域的・国際的な視野」「J 語学力」「K 情報処理技能能力」
- 選択肢「4. 身に付いた 3. 概ね身に付いた 2. あまり身に付かなかった 1. 身に付かなかった」

下記の通り、「4 身についた」と「3 概ね身についた」と回答した比率の合計で各項目を比較すると、「専門知識、技術」「幅広い教養」「倫理観」「協調性」など、各学部が修得すべき知識・能力として特に重視している項目について、非常に高い割合となっていた。ただし、11項目のうち、「J 語学力」「I 地域的・国際的な視野」「K 情報処理技能能力」の3項目については、学部によって若干の差異はあるものの総じて比較的低い割合となっていた。

### ○学部別上位3項目（下表参照）

薬学部：「D 倫理観」「C 専門知識、技術」「F 協調性」

歯学部：「C 専門知識、技術」「A 幅広い教養」「F 協調性」

看護福祉学部：「B 豊かな人間性」「D 倫理観」「F 協調性」

「G コミュニケーション能力」（同率1位4項目）

「A 幅広い教養」「C 専門知識、技術」

「E 自己研鑽能力」「H 自主性・創造性」（同率2位4項目）

心理学部：「D 倫理観」「A 幅広い教養」「F 協調性」

「G コミュニケーション能力」（同率2位3項目）「C 専門知識、技術」

リハビリテーション科学部：「C 専門知識、技術」「D 倫理観」「F 協調性」（同率2位2項目）「A 幅広い教養」

医療技術学部：「C 専門知識、技術」「A 幅広い教養」「E 自己研鑽能力」

### ○学部別下位3項目（下表参照）

薬学部：「K 情報処理技能能力」「I 地域的・国際的な視野」「J 語学力」

歯学部：「H 自主性・創造性」「I 地域的・国際的な視野」「J 語学力」

看護福祉学部：「I 地域的・国際的な視野」「K 情報処理技能能力」「J 語学力」

心理学部：「K 情報処理技能能力」「I 地域的・国際的な視野」「J 語学力」

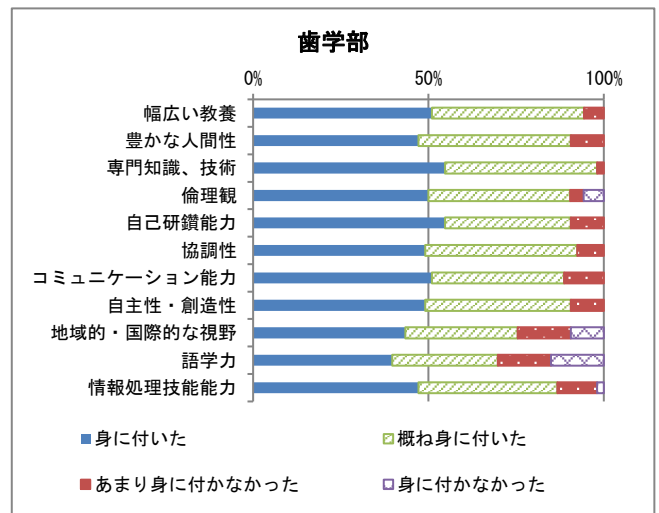
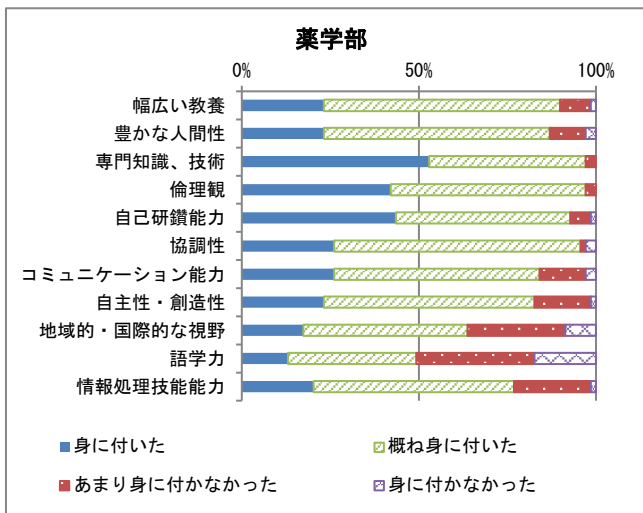
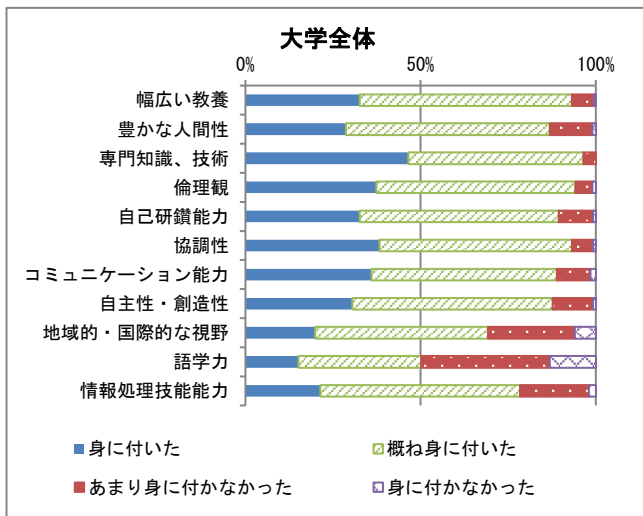
リハビリテーション科学部：「I 地域的・国際的な視野」「K 情報処理技能能力」「J 語学力」

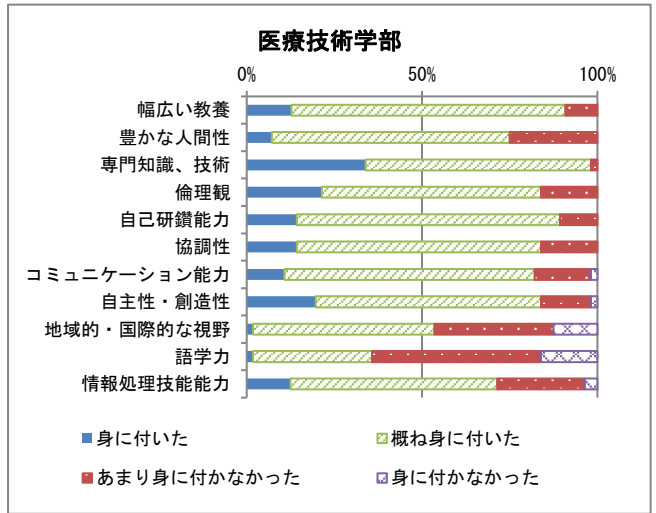
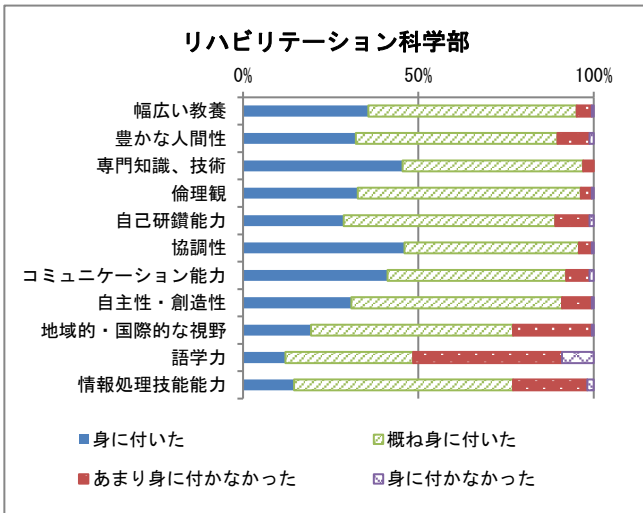
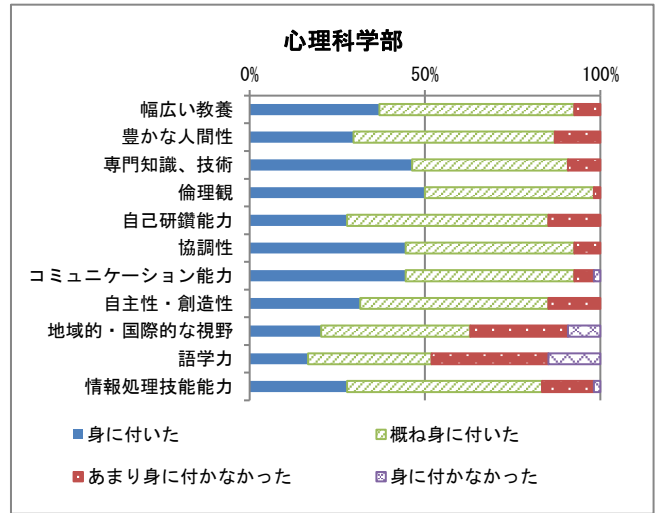
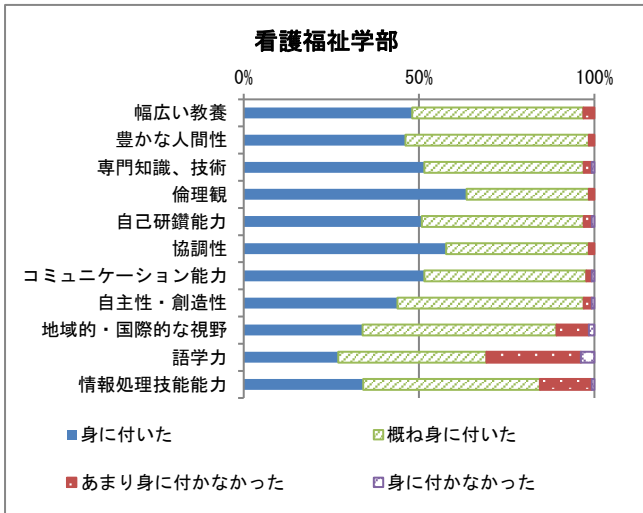
医療技術学部：「K 情報処理技能能力」「I 地域的・国際的な視野」「J 語学力」

○学部別・比率順一覧（単位：％）

薬学部		歯学部		看護福祉学部		心理科学部		リハビリテーション科学部		医療技術学部	
D 倫理観	97	C 専門知識、技術	98	B 豊かな人間性	98	D 倫理観	98	C 専門知識、技術	97	C 専門知識、技術	98
C 専門知識、技術	97	A 幅広い教養	94	D 倫理観	98	A 幅広い教養	93	D 倫理観	96	A 幅広い教養	91
F 協調性	96	F 協調性	92	F 協調性	98	F 協調性	93	F 協調性	96	E 自己研鑽能力	89
E 自己研鑽能力	93	B 豊かな人間性	91	G コミュニケーション能力	98	G コミュニケーション能力	93	A 幅広い教養	95	D 倫理観	84
A 幅広い教養	90	E 自己研鑽能力	91	A 幅広い教養	97	C 専門知識、技術	91	G コミュニケーション能力	92	F 協調性	84
B 豊かな人間性	87	H 自主性・創造性	91	C 専門知識、技術	97	B 豊かな人間性	87	H 自主性・創造性	91	H 自主性・創造性	84
G コミュニケーション能力	84	D 倫理観	90	E 自己研鑽能力	97	E 自己研鑽能力	85	B 豊かな人間性	90	G コミュニケーション能力	82
H 自主性・創造性	83	G コミュニケーション能力	89	H 自主性・創造性	97	H 自主性・創造性	85	E 自己研鑽能力	89	B 豊かな人間性	75
K 情報処理技能能力	77	K 情報処理技能能力	87	I 地域的・国際的な視野	89	K 情報処理技能能力	83	I 地域的・国際的な視野	77	K 情報処理技能能力	71
I 地域的・国際的な視野	64	I 地域的・国際的な視野	75	K 情報処理技能能力	84	I 地域的・国際的な視野	63	K 情報処理技能能力	77	I 地域的・国際的な視野	54
J 語学力	49	J 語学力	70	J 語学力	69	J 語学力	52	J 語学力	48	J 語学力	36

「地域的・国際的な視野」については、全学部で「地域連携」を全学教育科目として配当しており、また、「語学力」については、全学部を対象とする海外語学研修の実施、歯学部における「海外臨床研修」（自由選択科目）の配当、海外の提携大学への学生派遣等に取り組んでいる。





## ■授業科目の満足度

全学教育科目は、大学全体としては全項目で90%超の高い割合となっている。

専門教育科目は看護福祉学部およびリハビリテーション科学部において、すべての項目で90%以上の高い割合となっていた。

### 1. 全学教育科目-「教養教育」「基礎教育」「医療基盤教育」の3つの分野で構成

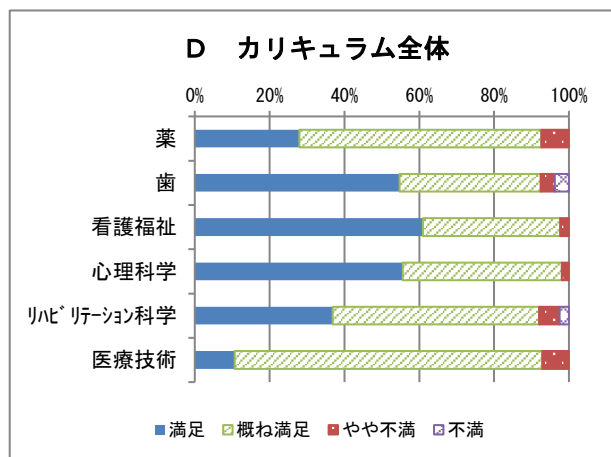
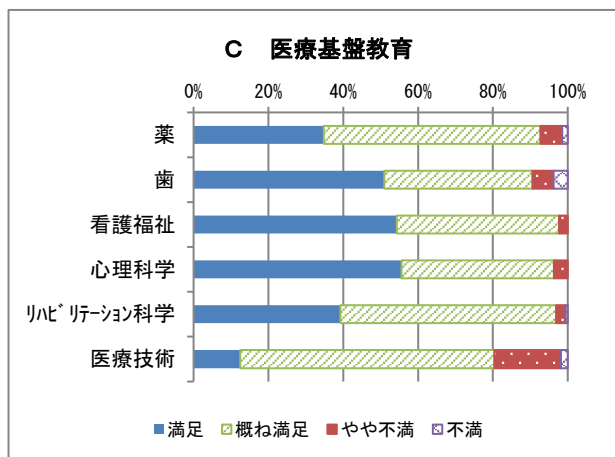
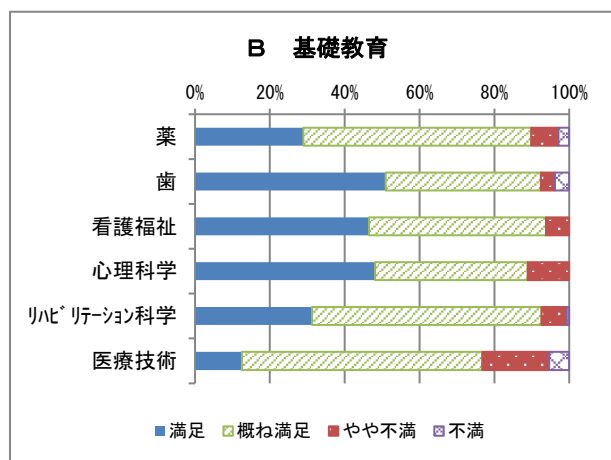
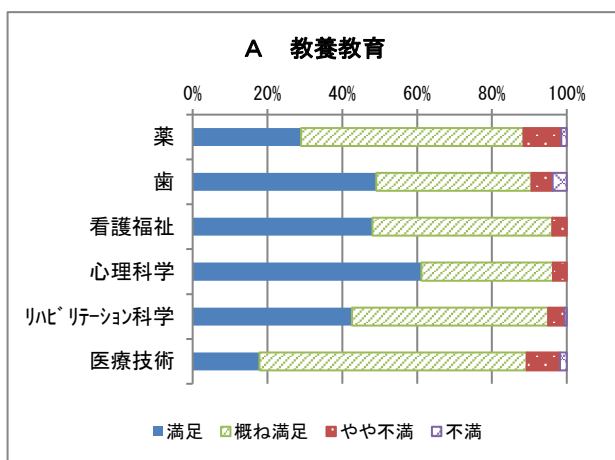
○項目「A 教養教育」「B 基礎教育」「C 医療基盤教育」「D カリキュラム全体」

○選択肢「4. 満足」「3. 概ね満足」「2. やや不満」「1. 不満」

「満足」「概ね満足」と回答した割合の合計（以下、「満足度」と表記）は、下表のとおりである。

（単位：％、カッコ内は前年）

学部等	項目	A 教養教育	B 基礎教育	C 医療基盤教育	D カリキュラム全体
大学全体		93.5 (95.3)	90.5 (94.0)	94.1 (96.3)	94.3 (96.6)
薬学部		88.4 (96.3)	89.9 (94.5)	92.8 (98.2)	92.6 (94.5)
歯学部		90.6 (88.5)	92.5 (90.4)	90.6 (94.2)	92.5 (92.3)
看護福祉学部		96.1 (96.0)	93.8 (96.8)	97.7 (96.0)	97.7 (98.4)
心理科学部		96.3 (100.0)	88.9 (93.3)	96.3 (93.3)	98.1 (100.0)
リハビリテーション科学部		95.1 (96.3)	92.6 (91.4)	96.9 (96.3)	92.0 (98.8)
医療技術科学部		89.3 (-)	76.8 (-)	80.4 (-)	92.9 (-)



## 2. 専門教育科目

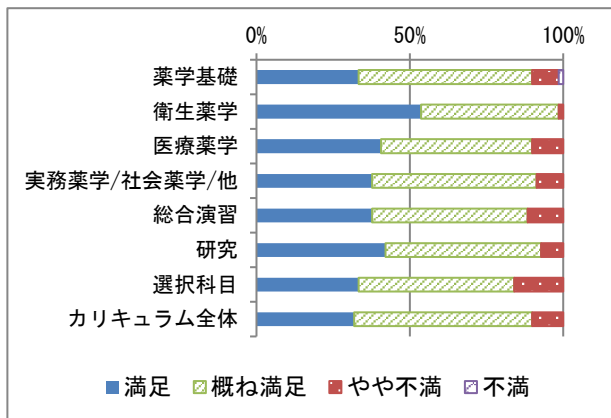
○項目 各学部の専門教育科目の分類による。

○選択肢「4. 満足」「3. 概ね満足」「2. やや不満」「1. 不満」

「4. 満足」「3. 概ね満足」と回答した割合（以下「満足度」と表記）は、下記の各表のとおりである。

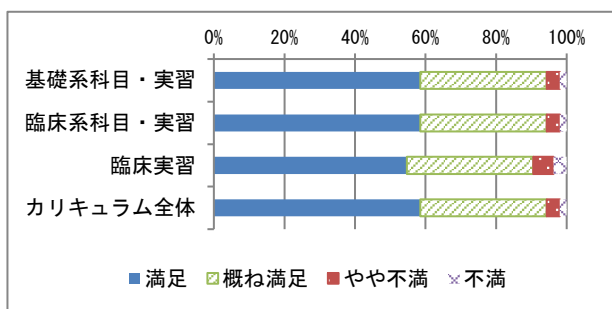
### ●薬学部

A 薬学基礎	B 衛生薬学	C 医療薬学	D 実務薬学/社会薬学/他
89.9 (87.3)	98.6 (97.3)	89.9 (90.0)	91.3 (95.5)
E 総合演習	F 研究	G 選択科目	H カリキュラム全体
88.4 (92.7)	92.8 (92.7)	84.1 (95.5)	89.9 (91.8)



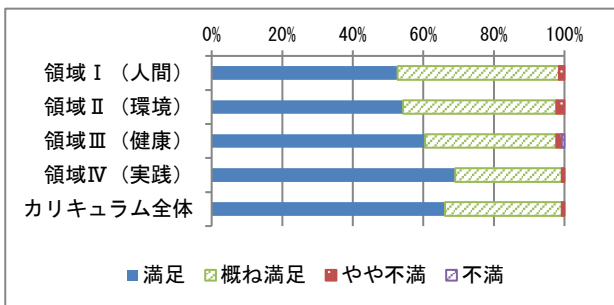
### ●歯学部

A 基礎系科目・実習	B 臨床系科目・実習	C 臨床実習	D カリキュラム全体
94.3 (96.2)	94.3 (90.4)	90.6 (73.1)	99.7 (86.5)



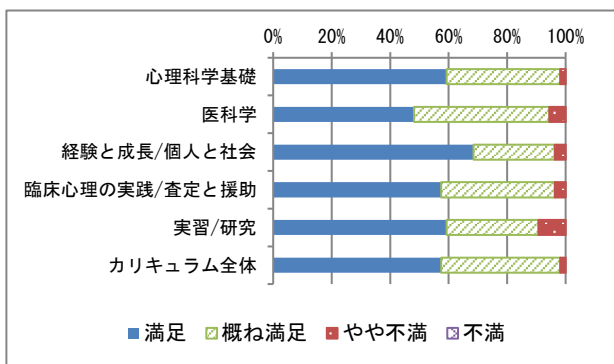
●看護福祉学部

A 領域Ⅰ（人間）	B 領域Ⅱ（環境）	C 領域Ⅲ（健康）	D 領域Ⅳ（実践）	E カリキュラム全体
98.4 (95.2)	97.7 (93.5)	97.7 (91.1)	99.2 (96.8)	99.2 (99.2)



●心理科学部（臨床心理学科）

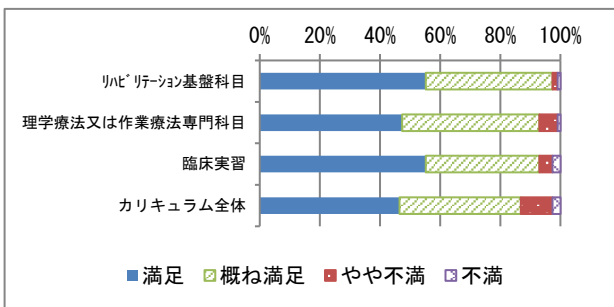
A 心理科学基礎	B 医科学	C 経験と成長/個人と社会
98.1 (100.0)	94.4 (93.3)	96.3 (93.3)
D 臨床心理の実践/査定と援助	E 実習/研究	F カリキュラム全体
96.3 (100.0)	90.7 (80.0)	98.1 (100.0)



●リハビリテーション科学部

ア) 理学療法学科・作業療法学科

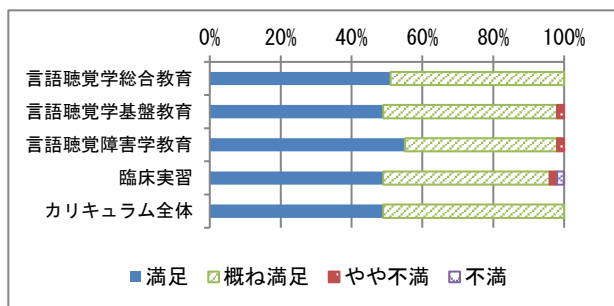
A リハビリテーション基盤	B 理学・作業療法専門	C 臨床実習	D カリキュラム全体
97.4 (100.0)	93.0 (100.0)	93.0 (93.2)	86.8 (100.0)





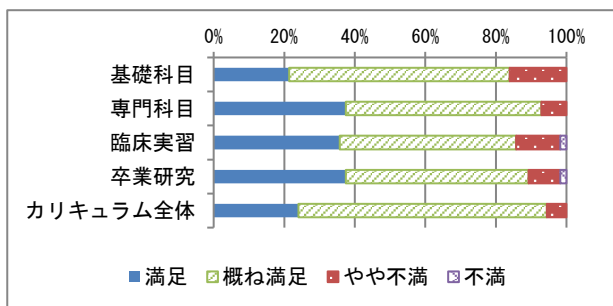
イ) 言語聴覚療法学科

A 言語聴覚学総合教育	B 言語聴覚学基盤教育	C 言語聴覚障害学教育	D 臨床実習	E カリキュラム全体
100.0 (95.7)	98.0 (95.7)	98.0 (91.3)	95.9 (100.0)	100.0 (100.0)



●医療技術学部（臨床検査学科）

A 基礎科目	B 専門科目	C 臨床実習	D 卒業研究	E カリキュラム全体
83.9 (-)	92.9 (-)	85.7 (-)	89.3 (-)	94.4 (-)



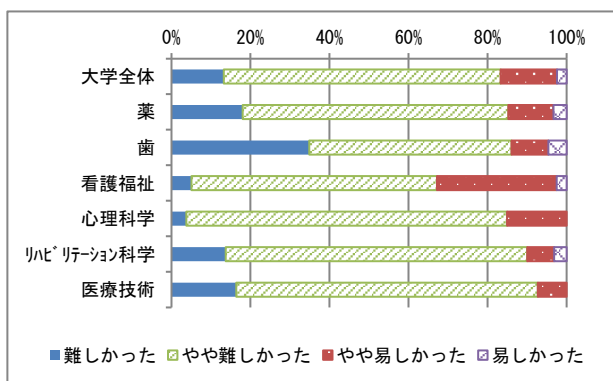
■教育プログラムの水準

○選択肢「4. 難しかった」「3. やや難しかった」「2. やや易しかった」「1. 易しかった」

「4. 難しかった」と「3. やや難しかった」と回答した割合は、下表のとおりである。

昨年度と比較すると、心理学部、リハビリテーション科学部は昨年度より高い割合となっている。一方で看護福祉学部は他と比較すると低い割合となっている。

大学全体	薬学部	歯学部	看護福祉学部	心理学部	リハビリテーション科学部	医療技術学部
83.3 (87.3)	85.2 (90.4)	86.0 (91.5)	67.2 (68.2)	84.9 (73.3)	90.0 (88.9)	92.7 (-)



■自由記述(件数)

	知識・技能の修得成果	授業・カリキュラムの評価	教育内容・大学への要望
薬学部	4	6	5
歯学部	3	1	5
看護福祉学部	19	13	10
心理科学部	7	4	2
リハビリテーション科学部	27	21	20
医療技術学部	4	11	9

## II. 大学院・研究科

### ■ 回答率

大学院・研究科		修了生数(人)	回答者数(人)と回答率	
薬学研究科	薬学専攻(博士課程)	2	0	0.0%
歯学研究科	歯学専攻(博士課程)	11	5	45.5%
看護福祉学研究科	看護学専攻(修士課程)	9	9	100.0%
	臨床福祉学専攻(修士課程)	1	1	100.0%
	看護学専攻(博士課程)	3	3	100.0%
	臨床福祉学専攻(博士課程)	2	1	50.0%
心理科学研究科	臨床心理学専攻(修士課程)	15	15	100.0%
	臨床心理学専攻(博士課程)	1	1	100.0%
リハビリテーション科学研究科	リハビリテーション科学専攻(修士課程)	8	2	25.0%
計		52	37	71.2%

### 1. 大学院の調査概要

#### ■ 修士課程と博士課程の別による修得すべき知識・能力

問2で在学中、「大学院課程教育において修得すべき知識・能力」がどの程度身についたかを質問した。

○修得すべき知識・能力: 下記の表を参照

○選択肢: 「4. 身についた」、「3. 概ね身についた」、「2. あまり身につかなかった」、「1. 身につかなかった」

修士・博士、それぞれの課程で修得すべき知識・能力として各研究科で特に重視している項目について概ね成果があった。

修得すべき知識・能力について、修士課程では「A 問題発見能力および解決能力」(96.0%)、「B 高度専門職能の基礎となる学識」(88.0%)「D 社会に貢献できる能力」(84.0%)「E コミュニケーション能力」(84.0%)、「G 高い倫理観」(96.0%)「H 自己研鑽能力」(100.0%)において「修得」「概ね修得」が80%以上という結果となった。中でも「B 高度専門職能の基礎となる学識」「G 高い倫理観」は各専攻において教育目標やカリキュラム・ポリシーに掲げた内容が概ね達成されていることを示しており、また「H 自己研鑽能力」(100.0%)は修士課程における高度専門教育が知識・技能だけでなく、望ましい態度の涵養といった点でも評価された結果と考えられる。

また、博士課程では「C 高度専門知識」「D コミュニケーション能力」「G 知的技術者(実践技術者)能力」「I 自己研鑽能力」「J 論文作成能力」で100%となっていた。

#### ■ 課程において身につけるべき知識・技能の修得度

##### (2-1) 修士課程修了者(n=27)

知識・能力	評価					4と3の合計と回答率	
	4	3	2	1			
A 問題発見能力および解決能力	4	20	1	0	24	96.0%	
B 高度専門職能の基礎となる学識	6	16	3	0	22	88.0%	
C チーム医療への対応	5	14	6	0	19	76.0%	
D 社会に貢献できる能力	7	14	4	0	21	84.0%	
E コミュニケーション能力	9	12	4	0	21	84.0%	
F 国際的な視野	2	12	9	2	14	56.0%	
G 高い倫理観	7	17	1	0	24	96.0%	
H 自己研鑽能力	12	13	0	0	25	100.0%	

##### (2-2) 博士課程修了者(n=10)

知識・能力	評価					4と3の合計と回答率	
	4	3	2	1			
A 研究計画能力と研究実践能力	3	6	1	0	9	90.0%	
B 研究競争力と問題処理能力	3	6	1	0	9	90.0%	
C 高度専門知識	5	5	0	0	10	100.0%	
D コミュニケーション能力	3	7	0	0	10	100.0%	
E 国際的な視野と行動力	3	5	2	0	8	80.0%	
F 責任性と高い倫理観	7	2	1	0	9	90.0%	
G 知的技術者(実践技術者)能力	3	7	0	0	10	100.0%	
H 指導者の能力	2	6	2	0	8	80.0%	
I 自己研鑽能力	3	7	0	0	10	100.0%	
J 論文作成能力	3	7	0	0	10	100.0%	

### ■教育プログラム全体の達成度

○選択肢:「4. 達成した」、「3. 概ね達成した」、「2. あまり達成しなかった」、「1. 達成しなかった」

教育プログラム全体の達成度については修士課程で92.6%、博士課程では100.0%といずれも高い割合となっていた。

課程 \ 評価	4	3	2	1	4と3の合計と回答率	
修士課程	5	20	2	0	25	92.6%
博士課程	4	6	0	0	10	100.0%

### ■課程修了後の進路選択に関する所属研究科の教育プログラム全体の有用度

○選択肢:「4. 有用であった」、「3. 概ね有用であった」、「2. あまり有用でなかった」、「1. 有用でなかった」

課程修了後の進路選択に関する所属研究科の教育プログラム全体の有用度は、修士課程で96.3%、博士課程では90.0%といずれも高い割合となっていた。

課程 \ 評価	4	3	2	1	4と3の合計と回答率	
修士課程	11	15	1	0	26	96.3%
博士課程	6	3	1	0	9	90.0%

### ■教育プログラムの水準

○選択肢:「4. 難しかった」、「3. やや難しかった」、「2. やや易しかった」、「1. 易しかった」

教育プログラムについては「難しかった」「やや難しかった」と回答している割合が修士課程で85.2%、博士課程では100.0%となっており、概ね適切な水準であった。

課程 \ 評価	4	3	2	1	4と3の合計と回答率	
修士課程	4	19	2	2	23	85.2%
博士課程	3	7	0	0	10	100.0%

### ■自由記述件数

研究科 \ 項目	知識・技能の修得成果	授業・カリキュラムの評価	教育内容・大学への要望
薬学研究科	0	0	0
歯学研究科	2	1	1
看護福祉学研究科	3	6	4
心理科学研究科	5	2	3
リハビリテーション科学研究科	2	1	0

## 北海道医療大学の教育に関するアンケート

本調査は北海道医療大学の卒業予定者を対象とし、点検・評価全学審議会が実施するアンケートで、本学の学士課程（学部）教育の改善に役立てることを目的としていますので、率直なご意見をお寄せください。

なお、回答結果は大学において厳重に管理し、個人が特定できる形での公表はいたしません。

【設問は問1～問8まであります】

問1 あなたが卒業する学部・学科について、該当する番号に○を付けてください。

- 1 薬学部      2 歯学部      3 看護福祉学部（看護学科）      4 看護福祉学部（福祉マネジメント学科）  
 5 心理科学部      6 リハビリテーション科学部（理学療法学科）      7 リハビリテーション科学部（作業療法学科）  
 8 リハビリテーション科学部（言語聴覚療法学科）      9 医療技術学部

問2 在学中、「学士課程（学部）教育において修得すべき知識・能力」がどの程度身についたと思いますか。

以下のAからKの項目について、4段階で○を付けてください。

基準：4. 身についた      3. 概ね身についた      2. あまり身に付かなかった      1. 身に付かなかった

A 幅広い教養	4	3	2	1
B 豊かな人間性	4	3	2	1
C 専門知識、技術	4	3	2	1
D 倫理観	4	3	2	1
E 自己研鑽能力	4	3	2	1
F 協調性	4	3	2	1
G コミュニケーション能力	4	3	2	1
H 自主性・創造性	4	3	2	1
I 地域的・国際的な視野	4	3	2	1
J 語学力	4	3	2	1
K 情報処理技能能力	4	3	2	1

問3 上記以外に身に付いたと思う成果を記載してください。

※4 または1を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

問4 全学教育科目の授業内容の満足度について、A～Dの項目について4段階で○を付けてください。

基準：4. 満足      3. 概ね満足      2. やや不満      1. 不満

A 教養教育科目（基礎ゼミナール、人間と思想、人間と文化 等）	4	3	2	1
B 基礎教育科目（外国語、健康・運動科学、情報科学、自然科学 等）	4	3	2	1
C 医療基盤教育科目（個体差健康科学、地域連携、医療倫理 等）	4	3	2	1
D カリキュラム全体	4	3	2	1

問5 専門教育科目の授業内容の満足度について、下記の（1）から（5）のうち、ご自身の該当学部・学科を選択して4段階で○を付けてください。

基準：4. 満足      3. 概ね満足      2. やや不満      1. 不満

（1）薬学部

A 薬学基礎科目（物理、化学、生物）	4	3	2	1
B 衛生薬学科目（衛生）	4	3	2	1
C 医療薬学科目（薬理/病態/薬物治療、薬剤）	4	3	2	1
D 実務薬学/社会薬学/他（実務、法制、その他）	4	3	2	1
E 総合演習（実践、複合、総合）・実習（基本、実務）	4	3	2	1
F 研究（総合薬学研究）	4	3	2	1
G 選択科目（基礎、オリジナル、アドバンスト）	4	3	2	1
H カリキュラム全体	4	3	2	1

（2）歯学部

A 基礎系科目・実習	4	3	2	1
B 臨床系科目・実習	4	3	2	1
C 臨床実習	4	3	2	1
D カリキュラム全体	4	3	2	1

●裏面へ続きます。

(3) 看護福祉学部（看護学科・福祉マネジメント学科）

A 領域Ⅰ（人間）科目（看護学原論/社会福祉原論 等）	4	3	2	1
B 領域Ⅱ（環境）科目（社会福祉概論/社会保障論 等）	4	3	2	1
C 領域Ⅲ（健康）科目（医学原論/医学一般 等）	4	3	2	1
D 領域Ⅳ（実践）科目（成人看護学実習Ⅰ/臨床福祉専門演習Ⅰ 等）	4	3	2	1
E カリキュラム全体	4	3	2	1

(4) 心理科学部

A 心理科学基礎（心理学Ⅰ 等）	4	3	2	1
B 医科学（医学総論 等）	4	3	2	1
C 経験と成長/個人と社会（学習心理学/社会心理学 等）	4	3	2	1
D 臨床実践の基礎/査定と援助（災害心理学/臨床心理アセスメント理論 等）	4	3	2	1
E 実習/研究（臨床心理臨地実習/卒業研究 等）	4	3	2	1
F カリキュラム全体	4	3	2	1

(5) リハビリテーション科学部

○理学療法学科・作業療法学科

A リハビリテーション基盤科目（解剖学Ⅰ/リハビリテーション概論 等）	4	3	2	1
B 理学療法又は作業療法専門科目（理学療法概論/作業療法概論 等）	4	3	2	1
C 臨床実習（臨床実習Ⅰ～Ⅴ/総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ）	4	3	2	1
D カリキュラム全体	4	3	2	1

○言語聴覚療法学科

A 言語聴覚学総合教育科目（言語聴覚学総論Ⅰ～Ⅴ 等）	4	3	2	1
B 言語聴覚学基盤教育科目（基礎人間科学/音声言語聴覚医学 等）	4	3	2	1
C 言語聴覚障害学教育（失語症学/成人発声発語障害学 等）	4	3	2	1
D 臨床実習（基礎実習/総合実習）	4	3	2	1
E カリキュラム全体	4	3	2	1

(6) 医療技術学部

A 基礎科目（解剖学、生理学、生化学、病理学、医学概論等 等）	4	3	2	1
B 専門科目（臨床生理学、臨床病態学、臨床血液学、遺伝子検査学、免疫検査学等 等）	4	3	2	1
C 臨床実習	4	3	2	1
D 卒業研究	4	3	2	1
E カリキュラム全体	4	3	2	1

問6 上記問4・問5で良かったと思う点や不満に感じた点がありましたら記載してください。

※4または1を選択の場合、可能であればその理由を記述してください。

問7 あなたの履修した教育プログラムの水準について、全体的印象として該当する番号に○を付けてください。

4. 難しかった 3. やや難しかった 2. やや易しかった 1. 易しかった

問8 北海道医療大学で受けた教育のことや大学へ要望することなどありましたら自由に記載してください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 北海道医療大学大学院の教育に関するアンケート

本調査は、北海道医療大学大学院の修了予定者を対象として点検・評価全学審議会が実施するアンケートで、大学院教育の改善に役立てることを目的としていますので、率直なご意見をお寄せください。回答結果は、大学において厳重に管理し、個人が特定できる形での公表はいたしません。

【設問は問1～問8まであります】

問1 あなたが修了する課程から、所属する研究科（専攻のある研究科は専攻別）に○を付けてください。

**修士・博士前期課程**・・・研究科を選択後、問2-1へ進んでください

- 1 看護福祉学研究科 **看護学** 専攻      2 看護福祉学研究科 **臨床福祉学** 専攻  
3 心理科学研究科      4 リハビリテーション科学研究科 **リハビリテーション科学** 専攻

**博士・博士後期課程**・・・研究科を選択後、問2-2へ進んでください

- 1 薬学研究科      2 歯学研究科      3 看護福祉学研究科 **看護学** 専攻      4 看護福祉学研究科 **臨床福祉学** 専攻  
5 心理科学研究科      6 リハビリテーション科学研究科 **リハビリテーション科学** 専攻

問2 在学中、「大学院課程教育において修得すべき知識・能力」がどの程度身についたと思いますか。以下のことについて、該当する課程にそれぞれ4段階で○を付けてください。

基準：4. 身についた      3. 概ね身に付いた      2. あまり身に付かなかった      1. 身に付かなかった

問2-1 **修士・博士前期課程を修了される方**にお尋ねします。

A	問題発見能力および解決能力	4	3	2	1
B	高度専門職能の基礎となる学識	4	3	2	1
C	チーム医療への対応	4	3	2	1
D	社会に貢献できる能力	4	3	2	1
E	コミュニケーション能力	4	3	2	1
F	国際的な視野	4	3	2	1
G	高い倫理観	4	3	2	1
H	自己研鑽能力	4	3	2	1

問2-2 **博士・博士後期課程を修了される方**にお尋ねします。

A	研究計画能力と研究実践能力	4	3	2	1
B	研究競争力と問題処理能力	4	3	2	1
C	高度専門知識	4	3	2	1
D	コミュニケーション能力	4	3	2	1
E	国際的な視野と行動力	4	3	2	1
F	責任性と高い倫理観	4	3	2	1
G	知的技術者（実践技術者）能力	4	3	2	1
H	指導者の能力	4	3	2	1
I	自己研鑽能力	4	3	2	1
J	論文作成能力	4	3	2	1

**問3** 上記問2以外に身に付いたと思う成果を記載してください。

**問4** あなたの所属している研究科、専攻等の教育プログラム全体の達成度について、該当する番号に○を付けてください。

4. 達成した    3. 概ね達成した    2. あまり達成しなかった    1. 達成しなかった

**問5** あなたの所属している研究科、専攻等の教育プログラム全体について、良かったと思う点や不満に感じた点がありましたら記載してください。

**問6** あなたの修了後の進路選択に関し、所属している研究科、専攻等の教育プログラムの有用度について、該当する番号に○を付けてください。

4. 有用であった    3. 概ね有用であった    2. あまり有用でなかった    1. 有用でなかった

**問7** あなたの履修した教育プログラムの水準について、全体的印象として該当する番号に○を付けてください。

4. 難しかった    3. やや難しかった    2. やや易しかった    1. 易しかった

**問8** 北海道医療大学で受けた教育のことや大学へ要望することなどありましたら自由に記載してください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。